

CDM DSA Realtime Monitor

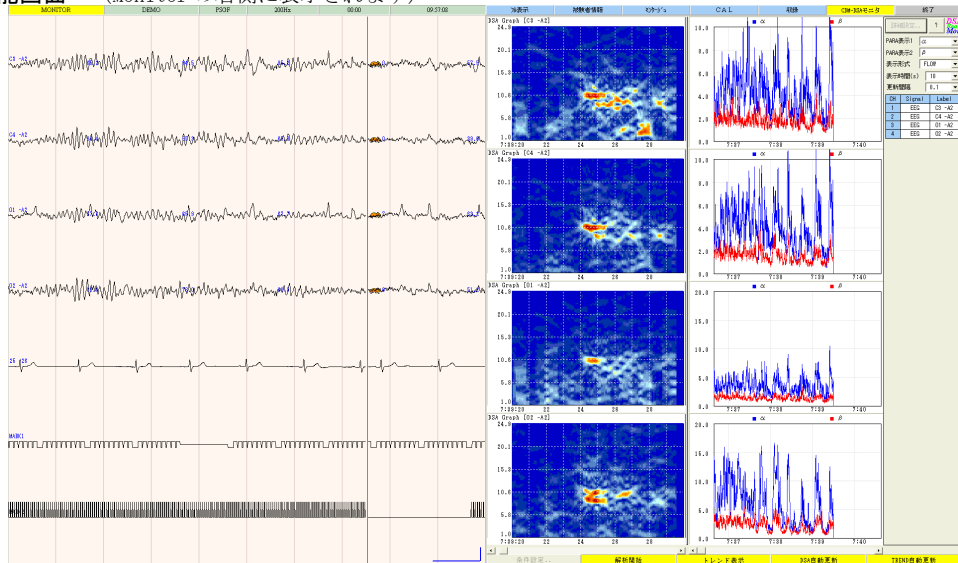


CDM-DSA リアルタイム解析モニター (CDM DSA Realtime Monitor) は、パーソナルコンピュータ (以下 PC と呼びます) で動作している収録プログラム (Acquisition Monitor, AP Monitor) 上で、波形のモニタと同時に脳波などの生体信号の周波数成分を CD 法を使用してリアルタイムに短時間分解能で解析し、DSA 表示及び帯域トレンドで表示します。モニタチャンネル数は標準 4 チャンネル表示 (オプションで 16 チャンネルまで拡張) でき、それぞれのチャンネルごとにパラメータ及びトレンド表示が可能です。オプション機能により、トリガイベント信号前後の周波数成分変化をトリガ DSA 表示で可能になります。

特徴

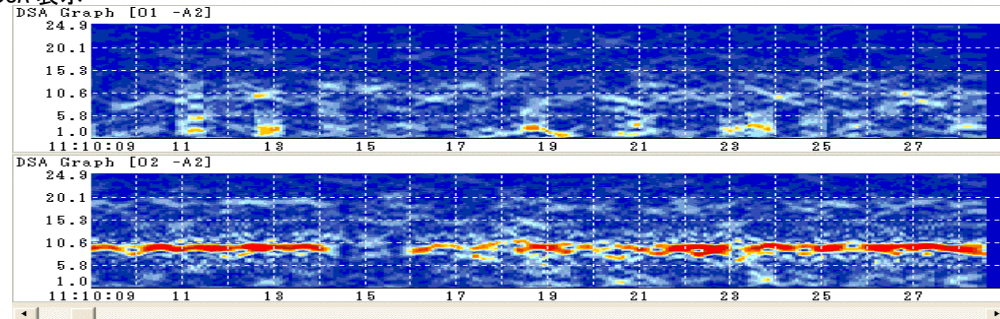
- 収録モニタプログラム (AP-Monitor, Acquisition Monitor) のオプションソフトとして機能します。
- 最大4チャンネルのDSA表示及び帯域トレンド、帯域パラメータ表示を切り替え表示します。
- 最短0.1秒単位でリアルタイムで周波数解析してDSA表示します。
- 見やすいDSA形式としてスクロールFLOW形式とFIX形式が選択できます。
- DSA表示内の任意帯域の平均瞬時値出をトレンド表示します。(8帯域)
- 2帯域の瞬時パラメータ値を切り替えてリアルタイム表示します。
- 解析した帯域トレンドを任意区間の平均値でテキスト形式で保存できます。
- トリガイベント前後の周波数成分変化量をトリガDSA表示します。(オプション)

機能画面 (Monitorの右側に表示されます)

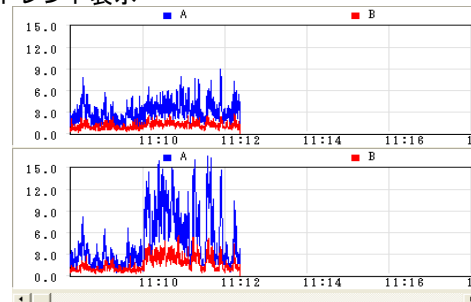


条件設定

DSA 表示



トレンド表示



パラメータ表示

01 -A2[A]	01 -A2[B]
P3.36 2.16	P2.06 0.48
02 -A2[A]	02 -A2[B]
P8.11 4.11	P2.15 0.69

仕様

- モニタチャンネル数 最大4チャネル (オプションで16チャンネル拡張)
- DSA 解析条件 周波数範囲 0~200Hz (但し最大周波数はサンプリング周波数依存)
最小帯域幅 0.05Hz (オート帯域幅機能)、時間分解能 0.1秒~5秒
DSA 表示形式 FLOW, FIX DSA 表示時間 2~60秒
DSA 表示間隔 0.1秒~2秒 解析時の自動スクロール表示
- トレンド作成時間 最大12時間
- トレンド帯域 最大8帯域 帯域計算区間 0.1秒~2秒
- トレンド表示 可能 (平均値、ピーク値の切り替え)
トレンド表示区間 1分~12時間 解析時の自動スクロール表示
- パラメータ表示 2帯域の選択 ピーク振幅と平均振幅
- 結果保存 帯域トレンドのテキスト保存 (解析終了時の自動保存 ON 時)
保存時間分解能 0.1秒~10秒

同期オプション機能

- 同期トリガ 最大4チャンネル (独立指定)
- 同期表示 全トリガ、独立トリガ選択可能
- 相対表示 トリガ前区間の平均に対する DSA 相対値表示 (0~100%)

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機)
- メモリ 4GB 以上 ハードディスクの残り容量 10GB 以上
- 表示解像度 1024×768 以上 (解析時には 1280×1024 以上推奨)
- 対応 OS Windows2000, WindowsXp, Windows7 (32, 64) (日本語環境)
- ポリメイト接続時には USB ポートが 1 つ以上空いていること

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。